

3 1 H 弥田 彩花    3 3 H 加藤 大雅    3 3 H 堂谷内 康生  
 3 5 H 大矢 莉子    3 5 H 山方 明仁    3 6 H 佐藤 優希

■課題

のと里山空港の地元民の利用者の減少。

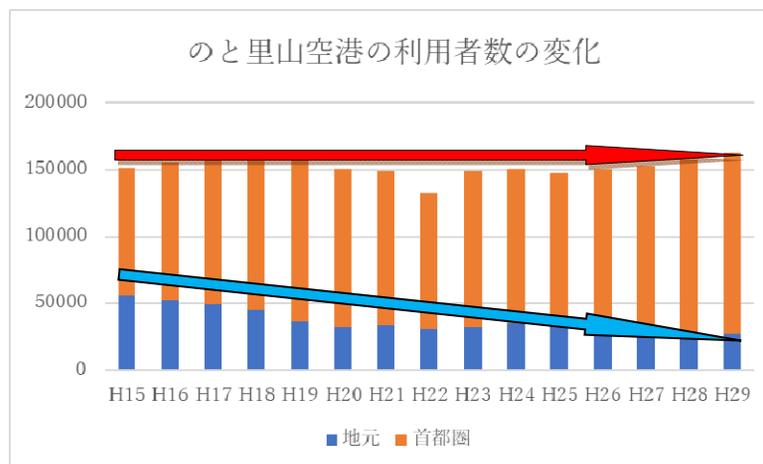
■解決策

のと里山空港を利用した時のメリットを増やしそれらを伝える。

■現状（課題の背景）

1 のと里山空港の利用者の変化（1）

地元からの利用者が減ってきている。  
 首都圏からの利用者は地元の利用者数と比較して、年々増加傾向にある。  
 ⇒地元（能登）からの利用者数を増やせばのと里山空港全体の利用者数を比較的に多く出来る。



2 電車と飛行機の比較（2）

電車と飛行機を比較したときに金額、所要時間はともに飛行機のほうが優れている。

バス

金額	所要時間	乗り換え
¥2,710	2時間54分	金沢→珠洲
¥1,290	47分	のと里山空港→珠洲

電車（金沢駅）

金額	所要時間	乗り換え
¥14,120	2時間33分	金沢→東京
¥13,600	3時間3分	金沢→東京
¥13,390	3時間22分	金沢→上野→東京

飛行機（のと里山空港）

金額	所要時間
¥12,040	1時間5分

■具体的内容

地元の人が能登里山空港を利用しない理由として、のと里山空港を利用したメリットがない、またはメリットが知られてないからであると考えられる。そこで、2つの解決策を提案する。

① 具体的なメリット案

飛行機や、駐車場の利用回数に応じた割引をつける。手間のかかる搭乗手続きの案内をスマホで行う。

② のと里山空港のメリットPR案

所要時間、金額がともに電車よりも優れているということをSNSで拡散する。

■効果

割引サービスやスマホを利用した搭乗手続きの案内によってのと里山空港の地元の利用者が増加する。  
 ⇒SNSでのと里山空港のメリットを地元民がPRすることで能登の知名度が上がり、観光客が増加し地域の活性化にもつながる。

■引用元

- (1) 「のと里山空港の利用状況」  
<https://www.noto-airport.jp/info/docs/b0c184b9300b999ff58d664c8ab7d5bb5ab82235.pdf>
- (2) 「のと里山空港と金沢駅の比較」  
<https://www.noto-airport.jp/flight/>  
<https://idou.me/search/train/ishikawa-station-kanazawa/tokyo-station-tokyo>